

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おおいちフォア・アス1単位目					公表日	令和 8 年 3 月 2 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・決して適切ではないと思うけど、工夫して使用していると思う。	・子どもたちが過ごしやすい環境を整えるにはもう少し広いスペースがあればとも感じる。 ・スペース的には手狭である。 ・新館ができて広くなったと感じる。ただ、目が届かないところが増えるので上手に活用できていないと感じる。活動スペースを分ける時に人(見る目)が足りていないと子どもたちに制限となるので申し訳ない。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		・人員配置基準は満たしているが、手厚く支援するためにもう少し職員がいればいいなと感じる時がある。 ・複数の児童を一人でみなければならぬ時がある。 ・たまに一人の職員が3～4人児童を担当していたりと大変なのでもう少し職員の人数を増やしてほしい。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・子どもたちは環境に応じて活動してくれている。	・工夫して整えているが、もう少し広ければ構造化されて過ごしやすくなるのではと感じる。 ・子どもに分かりやすく構造化された環境にはなっていない。 ・新館に行くルートはくつ下のまま行くしかない。 ・作業、学習の際に気が散ってしましやすい。環境、ワークシステムをやってみたいが…と感じる。ものが多く、狭いため動きが制限されるなど感じることもある。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	・清掃、整理整頓を職員一同で意識している。	・建物が古いため難しいところもある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・個別の部屋は限られているため、順番に使うなどの工夫をしている。	・できるだけ対応しているが、スペースの問題ですべての希望を認められないこともある。 ・個別の場所はトイレ前にしかなく、人の往来がある。 ・数に限りがあるので、もう1、2か所増えるといいなと感じることもある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・アンケート結果をもとに職員会議で話し合いを行い、業務改善に繋げている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・月1回職員会議を開いており、その時に職員同士の意見を出し合ったりしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・少しずつ参加する機会が増えている。日程と職員体制の兼ね合いで難しかったが、オンライン化が進み受けやすくなった。	・法人内、事業所内では行っているが、外部の研修に参加する機会が少ない。参加したくても日頃の支援に追われ、参加する余裕がない。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・令和7年1月23日から公表	・支援プログラムは作成されているが、末端までは届いていない。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	・保護者との日々の会話の中で子どもの様子や気になることをしっかりと把握し、計画作成に繋げている。	・子どもと保護者のニーズに時折食い違いがあるように感じる。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・計画を作成する際には職員間で子どもに必要な支援や最善の利益を話し合い、計画に取り入れている。			

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	・職員会議等で共有されている。	・職員間に共有されていない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のならい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		・地域支援、地域連携の点については薄いと思われる。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・当番制にすることで全員が主体となるようにし、その後皆で意見を出し合っている。	・チームでは行っていない。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・時には子どもたちの希望も取り入れながら組み立てている。 ・集団活動が苦手な子どもも職員と話し合いながら参加方法を選択できるようにしている。	・逆に固定化しているように思える。 ・職員の数や天候、子どもの特性など、状況によっては選択肢が限られてしまうことがある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・学校がある日は下校時間もバラバラな為、個別活動中心になっているが、長期休暇など利用時間が長い時は集団活動も経験できるようにしている。	・集団活動が苦手な子どもには集団活動は行われていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・長期休みの活動は特に細かく打ち合わせをしている。 ・平常は必ず行っているわけではないが、留意事項がある子どもについては全員が周知するようにしている。 ・インカムを導入したので、繋がる場所では外出先でコミュニケーションがとりやすくなったと感じる。	・チームで連携して行われていない。 ・長期休み中、早下校の時は事前の打ち合わせが難しいこともある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・毎日支援終了後には終礼が行われ、その日の子どもの様子や保護者からの情報を共有している。	・もっと備忘録や個人の記録に記録して残せるとよいと感じる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・毎日担当している児童の日々の記録をつけており、その都度気づいた点などを記録している。	・すべての職員が子ども全員の記録に目を通すということはできていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	・半年に1回、保護者との面談等を行い、職員全体で話し合った上で見直しを行っている。	
関係機関	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	1		・地域交流、地域連携は行われていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0		・自己決定できる場面をできるだけ作っているが、状況によっては難しい時もある。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・事前に職員から子どもの様子や気になることについて情報収集し、会議に参加している。	・会議後に議事録を作成する際に、内容が多い場合は時間を要するため、AIを活用するなど何か良い方法がないかと感じている。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		・学校(担任)によっては最近の様子等を話してくれたり、デイの様子を気にかけてやりとりがあることもあるが…連携と言われたらできていないと言いたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・LINEを導入し、連絡は取りやすくなった。	・体育祭や発表会など大きな行事は大体予測できるが、参観日、土曜登校、代休、一斉下校、変則日程など細かな変更は分からない。迎えに行くと知る、学校から電話があって知ると言うパターンが多い気がする。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・利用前には児童発達支援事業所や相談事業所からの情報提供がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・おおいちからは卒業のケースはまだやったことがないと思う。みらいへ移行するにはしっかりと共有できていると思う。	

や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		・そういった機会があればいいと感じるが、実施できていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	・近所に小学校が二つあり、公園等に出かけた時に交流があると思う。 ・地域や公共施設で実施されているイベントに参加した際に交流する機会がある。	・交流する機会はない。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		・子どもの支援時間と重なることもあり、参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・連絡帳や送迎時などに伝えられていると思う。 LINEもあるので、以前より共有しやすくなっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	・行事等では企画できていないが、迎えに来てもらった時にデイでの姿を見てもらえていると思う。 ・家族が参加できる研修やイベントについては情報提供があった場合にお知らせしている。	・家族支援プログラムは実施していない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・利用開始時や問い合わせがあった際にはわかりやすく説明を行うように努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・普段の会話の中で子どもたちがやってみたいことや困っていることなどを引き出せるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・支援内容の変更点などを説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		・家族から相談を受けることも多いが、的確な助言ができていないのか不安に感じることもある。しっかりと助言できるように日頃からの情報収集や自己研鑽も必要であると感じる。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	・行事等では企画できていないが、迎えに来てもらった時にデイでの姿を見てもらえていると思う。	・保護者同士で交流する機会は少ない。 ・保護者会や保護者同士、きょうだい同士の交流ができる行事は企画できていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情があった場合はすぐに対応し、安心して利用していただけるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・インスタの活用を頑張れたらと思う。	・Instagramへの投稿は日々の支援中心で後回しになっており、積極的にはできていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・正職員だけでなく、パートアルバイト職員にも入社時に個人情報についての確認を行うようにしている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	・特性に合った手段を用い、分かりやすく伝えられるように配慮している。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		・地域との交流は少ない。 ・地域の方が参加できる行事を行っていない。	
非常時	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・事業所内で研修したり、打ち合わせたりする機会がある。色んなパターンを想定した案を話すことができています。	・周知はまだ不足していると思う。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・月1回職員と児童とで避難訓練を行っている。	・室内で過ごすだけでなく、外出する機会も多いため、日頃からいろいろな場面を想定しておく必要があると感じている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・利用開始時やその都度、保護者から情報提供してもらい、職員間で情報共有を行っている。	・かかりつけ医などもっと定期的に情報の更新が必要だと感じる。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	・保護者から情報提供してもらい、対応している。	

等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・事故防止研修やヒヤリハットの振り返りなどを定期的に行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		・家族への周知は徹底されていない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		・ヒヤリハットの事例には個人差があり、定期的に振り返ることですり合わせていくことが必要だと思う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・事業所内で研修やチェックリストを実施している。	・外部の研修には参加できていない。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	・個別支援計画には記載している。 ・身体拘束についての研修を実施している。身体拘束を行った事例はないが、日頃から記録をとったり、子どもたちの様子を共有することで拘束をしない支援ができるようにしている。	